

## 第4回 造血器腫瘍免疫療法研究会学術集会

会期：平成24年8月18日(土)

会場：金沢市文化ホール 大集会場

会長：金沢大学医薬保健研究域医学系 細胞移植学(血液・呼吸器内科) 中尾 眞二

事務局：金沢大学付属病院 高密度無菌治療部 (プログラム作成：近藤 恭夫)

### 一般口演 演題一覧

#### 9:00-10:00

##### 【セッションⅠ：樹状細胞を用いたがん免疫療法】

座長：名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学 寺倉 精太郎先生

愛媛大学大学院医学系研究科 生体統御内科学 藤原 弘 先生

##### 1. 人工アジュバントベクター細胞の開発

○清水佳奈子、朝倉 三貴、信賀 順、佐藤 悠輔、藤井眞一郎

理化学研究所 横浜研究所 免疫・アレルギー科学総合研究所 免疫細胞移植戦略研究ユニット

##### 2. TLR7 リガンド Imiquimod は GM-CSF 誘導による免疫学的抗腫瘍効果を増強する

TLR7 ligand Imiquimod enhances GM-CSF-induced immunological antitumor effect.

○成澤 慈<sup>1</sup>、井上 博之<sup>1</sup>、坂本 千香<sup>1</sup>、横田 洋介<sup>1</sup>、渡邊あゆみ<sup>1</sup>、宮本 将平<sup>1</sup>

高山 浩一<sup>2</sup>、井上 誠<sup>3</sup>、長谷川 護<sup>3</sup>、中西 洋一<sup>2</sup>、谷 憲三朗<sup>1</sup>

<sup>1</sup>九州大学生体防御医学研究所 ゲノム病態学分野、<sup>2</sup>九州大学医学研究院附属胸部疾患研究施設

<sup>3</sup>ディナベック株式会社

##### 3. レチノイン酸を高産生するヒト樹状細胞の同定

Identification of human dendritic cells producing a high level of retinoic acid

○佐藤 貴之<sup>1</sup>、北脇 年雄<sup>1</sup>、藤田 晴之<sup>1</sup>、伊豫田智典<sup>2</sup>、稲葉 カヨ<sup>2</sup>、高折 晃史<sup>1</sup>

門脇 則光<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都大学 大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学

<sup>2</sup>京都大学 大学院生命科学研究所 体制統御学 生体応答学分野

##### 4. 悪性リンパ種に対する樹状細胞療法

○太田 秀一、小笠原正浩

札幌北楡病院

#### 10:00-11:00

##### 【セッションⅡ：固形がんに対する免疫療法の試み】

座長：京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学

北脇 年雄先生

大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学

岡 芳弘先生

##### 5. RNF43 ペプチドパルス樹状細胞ならびに RNF43 ペプチド特異的活性化リンパ球を用いた進行固形腫瘍患者に対する強化養子免疫療法第Ⅰ相臨床試験

A phase I study of adoptive immunotherapy using autologous dendritic cell pulsed with a RNF43 peptide in patients with advanced solid tumors

○土方 康基<sup>1</sup>、岡崎 利彦<sup>2</sup>、田中 芳浩<sup>2</sup>、小林 慎一<sup>3</sup>、村橋 睦了<sup>1</sup>、山田 一成<sup>1</sup>

丸本 朋稔<sup>3</sup>、井上 博之<sup>3</sup>、谷 憲三朗<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>九州大学病院 先端分子・細胞治療科、<sup>2</sup>九州大学病院 ARO次世代医療センター

<sup>3</sup>九州大学 ゲノム病態学分野

6. 腫瘍関連抗原と免疫寛容を標的とした進行・再発固形腫瘍に対する化学療法併用抗腫瘍免疫療法 (第 I 相臨床試験)

○村橋 睦了<sup>1</sup>、土方 康基<sup>1</sup>、田中 芳浩<sup>2</sup>、岸本 淳司<sup>3</sup>、井上 博之<sup>2</sup>、丸本 朋稔<sup>2</sup>

高橋 淳<sup>1</sup>、岡崎 利彦<sup>1</sup>、平川 雅和<sup>4</sup>、岡野 慎士<sup>5</sup>、谷 憲三朗<sup>2</sup>

1九州大学病院 先端分子・細胞治療科、2九州大学 生体防御医学研究所 ゲノム病態学分野

3九州大学病院 ARO 次世代医療センター、4九州大学病院 放射線科、5九州大学病院 病理部 病態制御学

7. 再発または治療抵抗性 4 期神経芽腫に対する KIR リガンド不一致同種臍帯血移植を用いたアロ NK 細胞免疫療法の試み

○高橋 義行<sup>1</sup>、杉田 完爾<sup>2</sup>、中村 和洋<sup>3</sup>、今井 千速<sup>4</sup>、伊藤 悦朗<sup>5</sup>、井上 雅美<sup>6</sup>

朴 永東<sup>7</sup>、森 鉄也<sup>8</sup>、百名 伸之<sup>9</sup>、小島 勢二<sup>1</sup>

1名古屋大学大学院医学研究科小児科学、2山梨大学医学部小児科学

3広島大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学、4新潟大学大学院医歯学総合研究科小児科学

5弘前大学大学院医学研究科小児科学、6大阪府立母子保健総合医療センター血液・腫瘍科

7大阪赤十字病院小児科、8国立成育医療研究センター腫瘍科、9琉球大学医学部附属病院小児科

8. Zoledronate sensitizes neuroblastoma-derived tumor-initiating cells to cytolysis mediated by human  $\gamma \delta$  T cells

○西尾 信博<sup>1</sup>、藤田 貢<sup>1</sup>、田中 義正<sup>2</sup>、牧 寛之<sup>1</sup>、張 エイ<sup>1</sup>、岡村 文子<sup>1</sup>

植村 靖史<sup>1</sup>、田口 修<sup>3</sup>、高橋 義行<sup>4</sup>、小島 勢二<sup>4</sup>、葛島 清隆<sup>1</sup>

1愛知県がんセンター研究所 腫瘍免疫学部、2京都大学医学部免疫学

3愛知県がんセンター研究所 分子病態学部、4名古屋大学医学部小児科学

11:00-12:00

【セッションⅢ：細胞療法の新たなアプローチ】

座長：九州大学生体防御医学研究所 ゲノム病態学分野

土方 康基先生

藤田保健衛生大学医学部 血液内科学

赤塚 美樹先生

9. 悪性 B リンパ腫に対する抗 CD19 キメラ抗原受容体発現 T 細胞の抗腫瘍活性

Anti-tumor activity of T-cells with anti-CD19 CAR for B cell lymphoma

○塚原 智典<sup>1</sup>、大嶺 謙<sup>2</sup>、内堀 亮介<sup>1</sup>、井戸 寛之<sup>3</sup>、卜部 匡司<sup>1</sup>、水上 浩明<sup>1</sup>

久米 晃啓<sup>1</sup>、小澤 敬也<sup>1, 2</sup>

1自治医科大・分子病態治療研究センター・遺伝子治療研究部、2自治医科大・医・血液内科学

3自治医科大学・免疫遺伝子細胞治療学(タカラバイオ)講座

10. セントラル・メモリー T 細胞由来、ウイルス特異的/CD19 特異的キメラ抗原レセプター遺伝子導入 T 細胞の作成

○寺倉 精太郎<sup>1</sup>、Tori N Yamamoto<sup>1</sup>、Cameron J Turtle<sup>1, 2</sup>、Michael C Jensen<sup>1, 3</sup>

Stanley R Riddell<sup>1, 2</sup>

1Program in Immunology, Fred Hutchinson Cancer Research Center, Seattle

2Department of Medicine, University of Washington, Seattle

3Department of Pediatrics, University of Washington, Seattle

11. 成人 T 細胞白血病に対する hTERT 特異的 TCR 遺伝子を用いた新たな細胞免疫療法の開発

hTERT is an immunogenic antigen for a novel gene-immunotherapy against adult T-cell leukemia

○宮増 幸大<sup>1</sup>、藤原 弘<sup>1</sup>、朝井 洋晶<sup>1</sup>、越智 史博<sup>1</sup>、東 太地<sup>1</sup>、石田 高司<sup>2</sup>

岡本 幸子<sup>3</sup>、峰野 純一<sup>3</sup>、葛島 清隆<sup>4</sup>、珠玖 洋<sup>5</sup>、安川 正貴<sup>1</sup>

1愛媛大学生体防御内科学、2名古屋市立大学腫瘍免疫内科学、3タカラバイオ㈱

4愛知県がんセンター腫瘍免疫学、5三重大学がんワクチン治療学/遺伝子・免疫細胞治療学

12. WT1 を治療標的抗原とする白血病幹細胞制御を目指した細胞免疫療法の可能性の検討

○藤原 弘<sup>1</sup>、朝井 洋晶<sup>1</sup>、越智 俊元<sup>2</sup>、宮増 幸大<sup>1</sup>、越智 史博<sup>1</sup>、峰野 純一<sup>3</sup>

葛島 清隆<sup>4</sup>、珠玖 洋<sup>5</sup>、安川 正貴<sup>1</sup>

1愛媛大学大学院医学系研究科 生体防御内科学、2トロント大学オンタリオ癌センター

3タカラバイオ㈱ 細胞・遺伝子治療センター、4愛知県がんセンター 腫瘍免疫学部

5三重大学 がんワクチン治療学/遺伝子・免疫細胞治療学

14:00-15:00

【セッションⅣ：抗原特異的 T 細胞と免疫逃避】

座長：大阪大学大学院医学系研究科 癌免疫学  
名古屋大学大学院医学研究科 小児科学

藤木 文博先生  
高橋 義行先生

13. 実臨床応用に向けたウイルス特異的細胞傷害性 T 細胞療法の開発

○藤田由利子<sup>1</sup>、宮坂あかね<sup>2</sup>、落合 央<sup>3</sup>、Ann M Leen<sup>4</sup>、長村 文孝<sup>5</sup>、高橋 聡<sup>1</sup>、  
森尾 友宏<sup>3</sup>

1 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 分子療法分野

2 東京医科歯科大学医学部附属病院 細胞治療センター

3 東京医科歯科大学大学院 発生発達病態分野、同・医学部附属病院 細胞治療センター

4 Center for Cell and Gene Therapy Baylor College of Medicine、

5 東京大学医科学研究所附属病院 医療安全管理部

14. 癌関連抗原 ROR1 を標的とした B 細胞腫瘍に対する免疫療法の開発

○福田 哲也、諏訪志穂子、渡邊 健、加藤 未有、三浦 修  
東京医科歯科大学血液内科

15. 人工抗原提示細胞を用いた WT1 特異的 CTL の誘導

○小笠原正浩、太田 秀一  
札幌北楡病院

16. 白血病細胞は HLA クラス I 遺伝子の LOH によって宿主免疫監視機構からエスケープする

○近藤 恭夫<sup>1</sup>、佐治 博夫<sup>2</sup>、西内 巧<sup>3</sup>、赤木 紀之<sup>4</sup>、小川 誠司<sup>5</sup>、中尾 眞二<sup>6</sup>

1 金沢大学附属病院 高密度無菌治療部、2 特定非営利活動法人 HLA 研究所

3 金沢大学学際科学実験センター ゲノム機能解析分野、4 金沢大学再生分子医学

5 東京大学医学部附属病院 がんゲノミクスプロジェクト、6 金沢大学大学院 細胞移植学

15:00-16:15

【セッションⅤ：ペプチドワクチン療法の現状と新たな試み】

座長：愛媛大学大学院医学系研究科 生体統御内科学

宮崎 幸大先生

東京大学医科学研究所先端医療研究センター 分子療法分野

高橋 聡 先生

17. imatinib 併用 WT1 ペプチドワクチン療法により MMR に至った CML 例の WT1-tetramer 陽性 CD8+ T 細胞の 4 年半の動態

○成田美和子<sup>1</sup>、増子 正義<sup>2</sup>、井田 桃里<sup>1</sup>、内山 孝由<sup>1</sup>、佐藤 直哉<sup>1</sup>、岩渕 南<sup>1</sup>、  
山平 晶恵<sup>1</sup>、古川 達雄<sup>2</sup>、鳥羽 健<sup>3</sup>、高橋 益廣<sup>1</sup>

1 新潟大学大学院保健学研究科 血液腫瘍学、2 新潟大学医歯学総合病院 高密度無菌治療部

3 新潟大学医歯学総合病院 血液内科

18. 慢性期 CML に対するイマチニブ併用 WT1 ペプチドワクチン免疫療法

○尾路 祐介<sup>1</sup>、岡 芳弘<sup>2</sup>、坪井 昭博<sup>3</sup>、保仙 直毅<sup>4</sup>、西田 純幸<sup>3</sup>、中田 潤<sup>2</sup>、  
中江 吉希<sup>2</sup>、中島 博子<sup>5</sup>、藤木 文博<sup>5</sup>、辰巳 直也<sup>1</sup>、杉山 治夫<sup>6</sup>

1 大阪大学大学院医学系研究科 癌幹細胞制御学

2 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学

3 大阪大学大学院医学系研究科 癌ワクチン療法学、4 大阪大学大学院医学系研究科 生体情報科学

5 大阪大学大学院医学系研究科 癌免疫学、6 大阪大学大学院医学系研究科 機能診断科学

19. 再発ハイリスク同種造血幹細胞移植後患者に対する WT1 ペプチドワクチン第 1 相臨床試験

○保仙 直毅<sup>1</sup>、前田 哲生<sup>2</sup>、福島健太郎<sup>2</sup>、近藤 忠一<sup>3</sup>、日野 雅之<sup>4</sup>、岡 芳弘<sup>5</sup>、  
熊ノ郷 淳<sup>5</sup>、金倉 譲<sup>2</sup>、杉山 治夫<sup>6</sup>

1 大阪大学大学院医学系研究科 生体情報科学、2 大阪大学大学院医学系研究科 血液腫瘍内科

3 京都大学 血液腫瘍内科、4 大阪市立大学 血液腫瘍内科

5 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学、6 大阪大学大学院医学系研究科 機能診断科学

20. WT1 ペプチドワクチンを用いた小児血液腫瘍に対する同種造血幹細胞移植後免疫療法

○橋井 佳子<sup>1</sup>、宮村 能子<sup>1</sup>、松村 梨紗<sup>1</sup>、吉田 寿雄<sup>1</sup>、宮下恵実子<sup>1</sup>、平松 英文<sup>2</sup>  
谷澤 昭彦<sup>3</sup>、坪井 昭博<sup>4</sup>、尾路 祐介<sup>5</sup>、保仙 直毅<sup>6</sup>、岡 芳弘<sup>7</sup>、杉山 治夫<sup>8</sup>  
大菌 恵一<sup>1</sup>

1 大阪大学医学系研究科小児科、2 京都大学医学部小児科、3 福井大学医学部小児科  
4 大阪大学医学系研究科 癌ワクチン療法学、5 大阪大学医学系研究科 癌幹細胞制御学  
6 大阪大学医学系研究科 生体情報科学、7 大阪大学医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学  
8 大阪大学医学系研究科 機能診断科学

21. WT1 ヘルパーペプチド投与による抗腫瘍免疫反応の増強—マウスモデルを用いた検討—

○中島 博子<sup>1</sup>、岡 芳弘<sup>2</sup>、坪井 昭博<sup>3</sup>、藤木 文博<sup>1</sup>、辰巳 直也<sup>4</sup>、尾路 祐介<sup>4</sup>  
杉山 治夫<sup>5</sup>

1 大阪大学大学院医学系研究科 癌免疫学、2 大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学  
3 大阪大学大学院医学系研究科 癌ワクチン療法学、4 大阪大学大学院医学系研究科 癌幹細胞制御学  
5 大阪大学大学院医学系研究科 機能診断科学

16:25-17:40

【セッションVI：造血幹細胞移植と同種免疫】

座長：金沢大学医薬保健研究域医学系 細胞移植学 大畑 欣也先生  
名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科 村田 誠先生

22. HLA-A2 拘束性に提示されたマイナー抗原 HA-1H ペプチドを認識する抗体の単離

○赤堀 泰<sup>1</sup>、赤塚 美樹<sup>2</sup>、葛島 清隆<sup>3</sup>、恵美 宣彦<sup>2</sup>

1 藤田保健衛生大学・総合医科学研究所・抗体プロジェクト研究室、2 藤田保健衛生大学・医学部・血液内科学  
3 愛知県がんセンター研究所・腫瘍免疫学部

23. 臍帯血移植後の急性GVHDが移植予後に与える影響

The impact of acute GVHD on relapse and survival after cord blood transplantation.

○河北 敏郎<sup>1</sup>、山口 拓洋<sup>2</sup>、大井 淳<sup>1</sup>、加藤せい子<sup>1</sup>、東條 有伸<sup>1</sup>、高橋 聡<sup>1</sup>

1 東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科、2 東北大学大学院医学系研究科 医学統計学分野

24. 末梢血 WT1 mRNA 定量により同種骨髄移植後の中枢神経再発を予測できた AML1-MTG8 陽性急性骨髄性白血病

○久保 博之、松岡 亮仁、高濱 隆幸、横倉 繁行、植村麻希子、松本 謙介  
福本 哲也、今滝 修、松永 卓也

香川大学医学部内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科

25. 活性化免疫受容体 DNAM-1 の急性肝GVHDの病態形成における重要な役割

○金谷 穰、渋谷 和子、阿部 史枝、鍋倉 宰、渋谷 彰

筑波大学医学医療系生命医科学域免疫制御医学

26. 可溶性 DNAM-1 の急性GVHD発症予測マーカーとしての有用性

○金谷 穰<sup>1</sup>、広近 玲<sup>1</sup>、渋谷 和子<sup>1</sup>、岡田 昌史<sup>2</sup>、我妻ゆき子<sup>2</sup>、坂巻 壽<sup>3</sup>  
渋谷 彰<sup>1</sup>

1 筑波大学医学医療系生命医科学域免疫制御医学、2 筑波大学次世代医療研究開発・教育統合センター  
3 がん・感染症センター都立駒込病院血液内科

**17:40-18:10**

**【セッションVII：血液疾患と免疫病態】**

座長：金沢大学医薬保健研究域医学系 細胞移植学 細川 晃平先生  
京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 門脇 則光先生

27. Additional karyotype abnormality might be a important factor for response of lenalidomide treatment.

○藤島 行輝、村井 一範、岡野 良昭、菅原 健、筑紫 泰彦、小宅 達郎  
佐々木了政、鈴木 雄造、菅原 教史、伊藤 薫樹、石田 陽治  
岩手医科大学 内科学講座 血液・腫瘍内科分野

28. Paroxysmal nocturnal hemoglobinuria (PNH) 症例における Eculizumab 治療の赤血球結合 IgG および C3 に対する影響

Influences to IgG and C3 bound to red blood cells by treatment with Eculizumab in patients with PNH

○野地 秀義<sup>1</sup>、亀崎 豊実<sup>2</sup>、濱中 純子<sup>3</sup>、山口 公平<sup>4</sup>、神林 裕行<sup>5</sup>、竹石 恭知<sup>1</sup>  
七島 勉<sup>1, 6</sup>、東北PNH研究会

1 福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座、2 自治医科大学\_地域医療学センター、3 鶴岡協立病院 血液内科  
4 青森県立中央病院 血液内科、5 太田西の内病院 血液内科、6 福島県環境医学研究所

**ランチョンセミナー**

**12:10-13:10**

座長：慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 所長  
細胞情報研究部門 教授 河上 裕先生

**『Mogamulizumab 時代の ATL 診療』**

演者：名古屋市立大学大学院医学研究科  
腫瘍・免疫内科学 准教授 石田 高司先生

共催：第4回造血器腫瘍免疫療法研究会学術集会  
共和発酵キリン株式会社